

令和5年度
「運営に関する計画」



大阪市立高見小学校
令和5年4月

大阪市立高見小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 令和 4 年度の学校生活アンケートにおいて、「自分にはよいところがありますか」の項目で、他の項目よりポイントが低く、児童の自尊感情を高める取り組みが必要である。
- 令和 4 年度の小学校学力経年調査の結果では、標準化得点を、大阪市と比較すると、国語について 6 年生は -2.6 ポイント、5 年生は +2.2 ポイント、4 年生は +3.4 ポイント、3 年生は -7.6 ポイントである。算数について、6 年生は +6.7 ポイント、5 年生は +4.5 ポイント、4 年生は +4.5 ポイント、3 年生は -9.4 ポイントである。
- 令和 4 年度の全国学力・学習状況調査において、平均正答率では、国語は、全国平均より 10.6 ポイント、大阪市平均より 9.0 ポイント低い。算数は、全国平均より 8.2 ポイント、大阪市平均より 7.0 ポイント低い。
- 令和 4 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男子は、「握力」で大阪市平均を上回った。女子は、「握力」「50m走」「ソフトボール投げ」で大阪市・全国を上回った。その他は下回っている。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度末に小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90 % 以上にする。
- 令和 7 年度末に学校生活アンケートにおける「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 95 % 以上にする。
- 令和 7 年度末に学校生活アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 77 % 以上にする
- 令和 7 年度末に学校生活アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 85 % 以上にする。
- 令和 7 年度末に学校生活アンケートにおける「先生や友だち、近所の人にあいさつをしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 90 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度末に全国学力・学習状況調査の正答率について、大阪市平均を上回る。
- 令和 7 年度末に小学校学力経年調査の正答率について、大阪市平均を上回る。
- 令和 7 年度末に全国体力・運動習慣等における体力合計点を男女ともに 54.0 点以上にする。
- 令和 7 年度末に小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 % 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度末に授業日において学習者用端末を使用する割合を 100% にする。
- 学習者用端末を活用した家庭学習を週 1 回実施する。
- 令和 7 年度末に学校生活アンケートにおける「学習者用端末を使った学習は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 95 % 以上にする。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 100%、15 日以上取得する教職員の割合を 90% 以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を 100% にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校の年度目標

- ① 学校生活アンケートにおける、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- ②学校生活アンケートにおける「学校のきまりを守っていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ③学校生活アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ④学校生活アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ⑤学校生活アンケートにおける「先生や友だち、近所の人にあいさつをしていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を26%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を63%以上にする。

学校の年度目標

- ①小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ②学校生活アンケートにおける「国語の授業はよくわかりますか。」「算数の授業はよくわかりますか。」の項目について肯定的な「わかる」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- ③学校生活アンケートにおける「学級の友達と話し合って、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ④メンター研修を年5回以上行い、若手教員の育成を図る。

- ⑤学校生活アンケートにおける「外国語の学習は楽しいですか。」の項目について肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ⑥学校生活アンケートにおける「体を動かすことは好きですか」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。
- ⑦体育発表会、なわとび週間、マラソン週間後にアンケートを行い、それぞれの内容において実施後に肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- デジタル教材を活用した朝学習などを週2回実施する。（3年生以上）
- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。（3年生以上）
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教職員の割合を70%以上にする。（基準2は100%）

学校の年度目標

- ①デジタル教材を活用した学習（朝学習や授業時間など）を3年生以上で週2回実施する。
- ②学習者用端末を活用した家庭学習を3年生以上で週1回実施する。
- ③学校生活アンケートにおける「学習者用端末を活用した学習にすすんで取り組むことができましたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- ④学校生活アンケートにおける「学習者用端末を使った学習は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- ⑤ゆとりの日を月1回以上完全実施する。

(様式 2)

大阪市立高見小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 8 6 % 以上にする。(前年度 8 2. 5 %)</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 (前年度 4. 3 1 % 《一昨年 3. 4 1 %》)</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 (前年度 9. 1 % 《一昨年 1 6. 7 %》)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 学校生活アンケートにおける、「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を 8 3 % 以上にする。(前年度 8 7. 8 %)</p> <p>② 学校生活アンケートにおける「学校のきまりを守っていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 8 5 % 以上にする。(前年度 9 1. 4 %)</p> <p>③ 学校生活アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 7 0 % 以上にする。(前年度 6 9. 5 %)</p> <p>④ 学校生活アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 8 0 % 以上にする。(前年度 8 0. 7 %)</p> <p>⑤ 学校生活アンケートにおける「先生や友だち、近所の人にあいさつをしていますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 8 5 % 以上にする。 (前年度 8 8. 7 %)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童理解全体会の設定により、情報を収集・共有しながら、「問題行動・いじめ・不登校」等、諸問題の解決に向けて全教職員が組織的に取り組む。 ・「いじめについてのアンケート」を学期に 1 回実施し、いじめに関わる事案について早期発見、早期対応を行う。 ・「学校生活の約束」を教室へ掲示、また保護者へ配布し、教職員と児童、保護者の共通理解のもと一貫した生活指導を行う。 <p style="text-align: right;">(いじめへの対応、問題行動への対応)</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめについてのアンケート」を学期に1回、「いじめ対策委員会」を年に6回以上実施する。 ・毎学期の始めや終わりなど、年に6回以上学級で「学校生活の約束」を確認する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育年間計画を作成し、互いの違いを理解し、認め合う児童集団の育成に努める。 ・体育発表会や学習発表会等の学校行事を通して、児童が達成感や成就感を味わうことができるよう取り組む。 ・たてわり班、登校班、クラブ活動、委員会活動等の活動を通して、異学年交流や児童と教職員との関わりを深める。 	(人権を尊重する教育の推進)
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画をもとに、全学級で必ず人権教育の実践を行う。 ・行事ごとのアンケートで、めあてを達成できたと回答する児童の割合を全学年65%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自らあいさつできるよう、「あいさつ習慣」を設定したり、学級や学年で指導を工夫したりする。 	(道徳教育の推進)
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ週間」を学期に1回設定し、評価方法を工夫するなどして、学校全体で継続して取り組む。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立高見小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった			
年度目標		達成状況	
【未来を切り拓く学力・体力の向上】			
全市共通目標（小・中学校）			
<p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 26 %以上にする。 (前年度 32. 8 %)</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 (前年度 5・6 年生において達成)</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。 (前年度 80. 7 %)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 63 %以上にする。（前年度 72. 3 %）</p>			
学校の年度目標			
<p>①小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 (前年度 5・6 年生については 1 ポイント以上向上を達成)</p> <p>②学校生活アンケートにおける「国語の授業はよくわかりますか。」「算数の授業はよくわかりますか。」の項目について肯定的な「わかる」と回答する児童の割合を 85 %以上にする。（前年度 国語 92. 1 %、算数 89. 2 %）</p> <p>③学校生活アンケートにおける「学級の友だちと話し合って、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。（前年度 83. 2 %）</p> <p>④メンター研修を年 5 回以上行い、若手教員の育成を図る。（昨年度 予定通り実施）</p> <p>⑤学校生活アンケートにおける「外国語の学習は楽しいですか。」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。（前年度 54. 0 %）</p> <p>⑥学校生活アンケートにおける「体を動かすことは好きですか」の項目について最も肯定的に回答する児童の割合を 65 %以上にする。（前年度 69. 8 %）</p> <p>⑦体育発表会、なわとび週間、かけあし週間後にアンケートを行い、それぞれの内容において実施後に肯定的に回答する児童の割合を 65 %以上にする。 (前年度 体育発表会 95. 4 %、なわとび週間 89. 2 %、かけあし週間 93. 8 %)</p>			

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科、国語科を中心に、児童の実態に合わせて学習形態を工夫し（朝の学習タイム、昼の「国語タイム」、デジタルドリル等）、学習の効率を高める。 <p style="text-align: right;">（言語活動・理数教育の充実）</p>	
<p>指標</p> <p>・学校生活アンケートで「国語の授業は好きですか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを実現する授業力を身につけることをめざして全体での研究授業・研究協議会に取り組む。 <p style="text-align: right;">（「主体的・対話的で深い学び」の推進）</p>	
<p>指標</p> <p>・年間6回以上の全体での研究授業・研究協議会を行う。</p> <p>・校内公開授業を年間10回以上行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の英語タイムを週2回15分間実施し、英語に親しむように取り組む。 <p style="text-align: right;">（英語教育の強化）</p>	
<p>指標</p> <p>・朝や昼の「学習タイム」で、C-NETを活用し年に2回以上全学級で「英語タイム」を実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の体力保持増進のため、体育授業、体育的行事の充実を図る。 各学年の内容に応じた「体育がんばりカード」を作成し、活用を図る。また、がんばりを評価し、フィードバックするように工夫していく。 <p style="text-align: right;">（体力・運動能力のための取組の推進）</p>	
<p>指標</p> <p>・学期に1回以上、「体育発表会」「なわとび週間」「かけ足週間」など、全校での体育的活動を実施する。</p> <p>・学校生活アンケートで「体を動かすことは楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立高見小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○デジタル教材を活用した朝学習などを週 2 回実施する。（3 年生以上） (前年度 85.4 %)</p> <p>○学習者用端末を活用した家庭学習を週 1 回実施する。（3 年生以上） (前年度 76.2 %)</p> <p>○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 100% にする。（前年度 達成）</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 70% 以上にする。（基準 2 は 100%）（前年度 達成）</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①デジタル教材を活用した学習（朝学習や授業時間など）を 3 年生以上で週 2 回実施する。（前年度 おおむね実施できた）</p> <p>②学習者用端末を活用した家庭学習を 3 年生以上で<u>月に 1 回</u>実施する。 (前年度 おおむね実施できた)</p> <p>③学校生活アンケートにおける「学習者用端末を活用した学習にすんで取り組むことができましたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 90% 以上にする。（前年度 90.1 %）</p> <p>④学校生活アンケートにおける「学習者用端末を使った学習は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 90% 以上にする。（前年度 90.3 %）</p> <p>⑤ゆとりの日を月 1 回以上完全実施する。（前年度 おおむね完全実施できた）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習など（授業時間を含む）でデジタル教材を積極的に活用する。 ・計画的に学習者用端末を持ち帰り家庭学習に取り組む。 <p style="text-align: right;">(ICT を活用した教育の推進)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年、1日1回学習者用端末を活用する。 ・朝の「学習タイム（ICT タイム）」の活用や「心の天気」を入力を積極的に行う。 ・3～6 年で、月に 1 回以上は学習者用端末を持ち帰り、NAVIMA を活用した家庭学習に取り組む。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の ICT 活用指導力の向上を図るための研修を実施する。 ・ ICT を効果的に活用した授業（スライド、Jamboree など）を月 1 回以 	

<p>上計画する。</p> <p>（ ICTを活用した教育の推進 ）</p>	
<p>指標</p> <p>・学期に1回以上、校内でのＩＣＴ研修を実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退勤の目標時刻を掲示したり、必要に応じて教職員に声かけをしたりして、昨年度より教職員の時間外勤務を減少させる。 <p>（働き方改革の推進）</p>	
<p>指標</p> <p>・「ゆとりの日」を月2回以上確実に実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	